様式第５号

令和４年度　学校関係者評価実施報告書

学校番号	10	学 校 名	田方農業高等学校	記 載 者	佐田　恵子

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	**農業教育の専門性の向上と基礎学力の定着をすすめる。**	・第４次アクションプラン達成率向上（昨年度比） ・農業クラブ全国大会（意見・プロジェクト発表）出場１部門以上 ・全国大会（農業鑑定競技）入賞７人以上	A	A	・新聞等で報道される生徒の活躍に心踊らされます。 ・新聞等の報道からも、個々の生徒の興味・関心を大切にしながら、専門的な丁寧な指導による多大な成果が窺える。 ・学校の特色、魅力づくりの重要な取組であるので、先生方の指導は大変と思うが、今後もお願いしたい。
		・資格取得数が前年度実績以上 ・アグリマイスター制度の円滑な実施 ・課題研究の題目、実施計画の指導が充実したとする自己評価 70%以上 ・日本農業技術検定３級合格者が全学科 75%以上	B	B	・検定料金に苦慮する家庭もあるようで、一概に評価するのは難しいと思います。
		・講師招請７回以上、高大連携２回以上 ・講師招請、高大連携が効果的に活用できたとする自己評価 80%以上	A	A	・生徒が多く志望する大学との連携も必要と思います。 ・コロナ禍でも、講師招聘 15 回、高大連携２回という実績は教育の専門性の向上への意欲を示している。効果も上げている。

		・家庭学習が習慣化したとする自己評価60%以上	C	C	・高校生段階として、提案のとおり、家庭学習の定義の見直しを行う必要はある。 ・今後、家庭学習の必要性やあり方も含め、検討していただきたい。
		・基礎学力が定着したとする自己評価 70%以上	C	B	・基礎学力の定着はなかなか難しさがあるが、生徒の 74.7%という自己評価や各教科での工夫(問題解決型の授業展開等)により、向上への期待が大きい。 ・生徒、教員のアンケートでは、目標には届かないが上がっている。先生方の努力が窺われる。 ・更なる向上を目指していただきたい。
		・授業改善のための教科、学科内の研修および研究授業を実施　１回／年 ・ICT を活用した授業ができたとする自己評価 100% ・相互授業参観、年２回以上 ・生徒授業アンケート年２回の実施と授業への還元	B	B	・生徒が意欲を持って、計画的に自ら学習できるような仕組みづくりをお願いしたい。 ・家庭学習とのリンクもできると思われる。もう一工夫を期待する。 ・ICT 活用については、よりよい活用をしている先生方がいると思われるので、それを校内で広め、教育格差の縮小に努めてほしい。 ・ICT の環境が整い始めたので良かったと思います。今後の活用に期待します。
イ	**自己指導能力及び社会性の育成**	・自発的・積極的に授業に参加できたとする生徒 80%以上 ・常に授業を大切にし、準備をして臨むことができたとする生徒 80%以上 ・授業で自分の意見や考えを持ち、他者の意見を認めることができたとする生徒が	B	B	・義務においても「主体的対話的で深い学び」「個別の学びと協働的な学び」の実現として、ICT の活用を子どもと進めている。更に工夫した授業を期待したい。 ・学校評議員会の中で、年に１度、授業中に校内を案内してもらっているが、落ち着いて学んでいる姿が見られた。また、地域に住む者として、体育の授業で来光川の堤防で走っている様子を見ると、お互いに高めあいながら、一生懸命走る姿が見られ、元気をもらっている。

様式第５号

		90%以上			
		・遅刻者数の平均が１日３人以下 ・校則やマナーを守れたと自覚する生徒80%以上 ・登校指導、頭髪・服装等の指導に共感できる保護者85%以上 ・交通ルールや乗車マナーを遵守し、安心して通学できていると感じる生徒85%以上 ・生徒指導件数３件以下、生徒の交通事故５件以下	B	B	・年々問題の無い生徒が増えていると思います。個性がなくなっているのかなと危惧することもありますが。 ・登校、身なり等、先生方の指導の努力により、生徒との信頼関係をもって、概ね良好である。多様化する中で、ご苦労もあると思われるが、今後も安定した生活指導をお願いしたい。 ・生徒指導の発生件数を成果目標とすることは、疑問を感じる。何をもって、件数とするかだが、「いじめ」等であれば、認知件数が少ないことは、決して成果とはならないと思われる。
		・自ら進んで挨拶のできる生徒の割合80%	B	A	・生徒は校内で会うと大きな声で挨拶してくれて、学校に来るのが楽しくなります。 ・生徒97.3%が達成できているとの自己評価は素晴らしいこと。 ・生徒アンケートでは、評価は「A」と思えるが。学校としてぜひ、継続的な取組をお願いしたい。
ウ	**キャリア教育を根幹とした進路指導の充実**	・生徒の進路意識が高まったとする自己評価80%以上	A	A	・担任のきめ細かい進路相談面接が生徒の進路意識を高めていると思われるので、面接時間確保をぜひ。
		・生徒が納得できる進路実現率 大学・短大80%以上 専門学校90%以上 就職85%以上	A	A	・数値からも充実した指導が窺える。

様式第５号

		・進学・就職の指導が十分行われていると感じる生徒90%以上 ・進路に関する情報が提供され、きめ細かい指導が行われていると感じる保護者80%以上	B	B	・保護者の数値が低いが、生徒から保護者に伝わっているのですか。 ・生徒は 95.8%と満足度が高いにも関わらず、保護者 67.8%というのは残念。きめ細かい指導が行われていることを三者面談でもっと保護者にアピールする必要があるのではないか。
エ	学校農業クラブ、生徒会、部活動の活性化と自主性の育成	・学校農業クラブ活動について積極的に関わったとする生徒 70%以上 ・学校行事等を積極的に行うとする生徒90%以上	B	B	・学校行事が、生徒の育成にとって良好な活動となっていることが、数値からわかる。 ・田農祭の時の生徒のはつらつとした活動に感激します。
		・県大会出場部活 60% ・部活動中のケガ・事故、昨年比減 ・部活動ガイドラインに則った活動計画の適正な遂行100% ・テスト前部活動休止の徹底 ・部活動が活発で生徒に充実感をもたらしているとする保護者 85%以上	B	B	・指導者による部分が多くあると思いますが、成果が上がっていると思います。
オ	共生・共育の定着と心を豊かにする教育の充実	・共生・共育の交流活動４回以上	A	A	・田方分校は、田農の特色であり、宝だと思う。これからも充実した交流活動をお願いしたい。 ・県の特別支援学校生との共生・共育の交流活動が自然にできる環境を生かして、今後も継続をしたい。

様式第５号

		・豊かな心や命を大切にする心が育っているとする保護者 90%以上	A	A	・保護者の 95.7%が「心が育っている」と評価している実態はすごいことだと思う。 ・生物、生命をつかさどる者として一番大切な部分です。大切に育ててください。
		・図書館だよりの発行８回／年 ・図書貸し出し数３冊／人 ・授業などでの図書室活用、月平均５時限以上 ・朝読書の意義を理解し、有効に活用できたとする生徒 60%以上	B	B	・一日のスタート、静かな心を持って授業を迎えることは、とても良い。 ・朝読書の意義が高校から肯定的に受け止められていることは重要。 ・朝読書が小中高とずっと続いてきていることは嬉しい。
カ	安全・安心な教育環境の整備と美化に努める	・校内クラスター の発生０件 ・「学校の新しい生活様式」に基づいた活動ができたとする生徒 90%以上	A	A	・校内クラスターの発生が無いというのは素晴らしいことです。指導頂く先生の賜物と思います。 ・コロナ禍で「新しい生活様式」に基づき、全校で教職員、生徒一人一人が気を付け、クラスターも出さずに、健康に過ごせたことは、それなりの努力と値打ちがあると思う。
		・安全を優先した日常的な整理整頓・不要物等の廃棄・計画的な改修に努める。 ・施錠管理を徹底する。(外部からの盗難０件) ・校内美化活動３回／年 ・清潔な学習環境の保全ができたとする自己評価割合 80%以上	B	B	・農業施設の老朽化が進んでいるように見えます。設置者である県に施設の適切な管理をお願いします。 ・施設、設備の老朽化のなか、清潔さを保ち、管理を徹底することは、大変だと思うが、先生方を中心に、よく努力していると思い、頭が下がります。県への予算要求もあきらめずに継続を。 ・校長先生をはじめ、先生方、お疲れさまでした。

様式第５号

		・特別支援体制、教育相談体制の円滑な運営を図る。 ・通級指導への理解と連携の充実 ・教育相談便り10回／年	B	B	・今後も更なる指導体制と支援の充実を願う。
		・校務系ファイルサーバーの適切な利用と管理を図る。 ・個人情報漏洩の事故０回	A	A	
キ	地域・保護者との連携と教育情報の効果的な提供	・広報活動の更なる推進（学校案内のリニューアル、体験入学・公開授業・学校見学会等の内容検討、各種パンフレットの活用促進等） ・クラスにおけGoogle Classroomの活用100％ ・新しい学校ホームページの活用による情報発信（年間100,000アクセス）	B	B	・学校のホームページ、良かったです。３年生の学年だよりが特によかったと思いました。勉強のことや進路のこと、生徒のためになると思いました。
		・地元農家招聘２回 ・ＪＡや地元農家・企業との連携が促進されているとする自己評価割合７０％以上	A	A	・今後も充実した活動を期待する。 ・座学も大事ですが、現場の声を聞くことは、それ以上に学びの成果が大きいと思います。
		・地域防災訓練参加生徒80人以上、参加職員25人以上 ・伊豆田方分校との連携を強	B	B	・非常時には、高校生は各地域の大きな戦力になると思う。防災意識の育成は重要に思う。 ・何時起こるか判らない災害に対応した防災・減災の意識をしっかり身に付けてください。

様式第５号

		化			
ク	業務改善及び教職員研修の推進	・各種研修会への参加及び視察の回数３回／年	B	B	
		・教科（学科）ごとに足並みがそろった評価ができたという自己評価70%以上	B	B	
		・部活動指導員、スポーツエキスパート、文化の匠、学習支援事業等の県事業が適切に活用できる。100%	A	A	
		・勤務管理システムの正しい入力の徹底 ・週１回の定時退勤日（月曜日）の徹底 ・各部活動で設定している週１回以上の休業日の完全実施 ・部活動ガイドラインの適正な履行を進める。 ・夏季休暇の取得率100% ・１ヶ月あたりの時間外勤務45 時間以内、年間 360 時間以内 ・定時退勤日 午後４時45分退勤励行 午後６時完全	B	B	・管理職の適切な勤務・業務管理へのご努力と、先生方との協力、意識改革が進んでいることがわかる。 ・夏季休暇の 100%取得については一考してほしい。 ・工夫により、夏季休暇等を無理なく取得できる体制を構築していただきたい。 ・実業高校としては、なかなか休暇が取りにくい面も多いと思いますが、しっかりと休んで心身共にリフレッシュして生徒に対面してください。

様式第５号

		退勤 平常日 午後７時退勤励行 午後８時完全退勤			
		・コンプライアンス研修毎月１回実施（職員会議内） ・教職員の不祥事０、体罰０、交通事故０	A	A	・学校の信頼の根底をなすものであるので、今後も継続を願いたい。 ・当たり前のことですが、不祥事０、体罰０、交通事故０と素晴らしい。先生方も生徒たちも心身ともに健やかに頑張ってくれているのだと嬉しく思います。学校全体がよい環境のもと、ますます向上されますよう応援しています。